



令和元年度 公益財団法人大分県体育協会第1回理事会

日 時：令和元年5月14日（火）16：45～

会 場：レンブラントホテル 2階 二豊の間

理 事

出席者 麻生 益直 工藤 利明 加藤 寛章 安部 亮 井上 倫明
(24名) 衛藤 賢 工藤 啓記 佐藤 彰倫 土谷 忠昭 藤本 学
牧 和志 松本 悠輝 三好 正昭 今富 寛二 榎 英樹
大場 俊二 神志那 静清 後藤 修二 竹井 信之 中村 和好
牧野 新吾 真砂 昌史 山口 誠 渡邊 光廣

欠席者 相馬 尊重 野見山裕治 後藤 博美 友岡 正春 花木 敏寿
(5名)

監 事

出席者 倉掛 賢裕 武石 哲也 矢部 正秋
(3名)

資格確認 渡邊総務部長が出席理事24名で、定数の過半数であることから、本会定款第36条により、本会が成立することを報告した。

1 開会のことば

渡邊総務部長が開会のことばを述べた。

2 議長選出

役員改選直後で会長不在の為、本会理事会規程第6条の2項「理事全員の改選直後の理事会における議長は、出席した理事の中から互選された者がこれにあたる」により、渡邊総務部長が議場に互選にあたり、事務局案の提案の可否を諮った。

《異議なしの声があがった。》

伊藤事務局長が、工藤利明理事を議長に選出する事務局案を提案し、全会一致で承認された。

以降は、工藤議長による進行。

【役員紹介】

出席の理事、監事がそれぞれ自己紹介を行った。

3 報告事項

令和元年・2年度公益財団法人大分県体育協会役員について

以下、伊藤事務局長の説明内容。

令和元年・2年度公益財団法人大分県体育協会役員について、御説明いたします。

レジュメの2ページをお開きください。4月18日（木）の臨時評議員会において、加盟競技団体が互選により推薦する12名、加盟地域スポーツ団体が互選により推薦する6名、加盟学校体育団体が互選により推薦する2名、合計20名の理事候補者と3名の監事候補者が選出されました。また、4月26日（金）の書面決議による臨時理事会において、学識経験者区分理事候補者9名が選出されました。続きまして、4月30日（火）に書面決議による役員等推薦委員会を開催し、評議員会及び理事会で選出された29名の理事候補者及び3名の監事候補者が正式な候補者として選任されました。

そして本日午前中に開催された臨時評議員会で令和元年・2年度の役員案が承認されました。2ページ・3ページ記載の皆様方が令和元年・2年度公益財団法人大分県体育協会理事・監事の方々でございます。

なお、8期16年会長を務められました広瀬前会長は、この度本会役員を御勇退されたことを御報告いたします。

《質疑応答なし》

4 議事

以下の議事について、伊藤事務局長が説明を行った

議案1 令和元年・2年度代表理事、業務執行理事の選定について

議案2 参与の推薦について

議案3 令和元年・2年度財務委員会委員長及び大分県スポーツ少年団本部長・副本部長について

議案4 退任表彰について

議案5 平成30年度事業報告について

議案6 平成30年度収支決算について

議案7 公益財団法人大分県体育協会の名称変更について

【議案1 令和元年・2年度代表理事、業務執行理事の選定について】

以下、伊藤事務局長の説明内容。

それでは、レジュメ4ページの議案1、令和元年・2年度公益財団法人大分県体育協会代表理事、業務執行理事の選定について、御説明いたします。

定款第24条2項には、「理事のうち1名を会長とする。また、会長を除き4名以内を副会長、1名を専務理事、10名以内を常務理事とすることができる。」とございます。また、第25条の2項には、「会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって、理事の中から選定する」とございますことから、本日は、会長1名・副会長4名以内の代表理事と、専務理事1名・常務理事10名以内の業務執行理事を選定していただきたいと思っております。御審議よろしく願いいたします。

《工藤議長が、事務局案を提案させて良いか議場に諮った。》

《異議なしの声があがった。》

(事務局案配付)

それでは、御説明いたします。お配りいたしました事務局案の名簿の読み上げをもちまして、提案とさせていただきますと思います。

会 長 麻生益直 八鹿酒造株式会社代表取締役社長
副会長 工藤利明 県教育長
副会長 相馬尊重 由布市長
副会長 野見山裕治 日本製鉄株式会社大分製鉄所 執行役員 所長
専務理事 加藤寛章 県教育庁体育保健課長
常務理事 安部 亮 大分合同新聞社運動部長
常務理事 井上倫明 県高等学校体育連盟会長
常務理事 衛藤賢 県軟式野球連盟理事長
常務理事 工藤啓記 県中学校体育連盟会長
常務理事 佐藤彰倫 県フェンシング協会理事長
常務理事 土谷忠昭 県スポーツ推進委員協議会会長
常務理事 藤本学 県カヌー協会理事長
常務理事 牧和志 県スポーツ少年団指導者
常務理事 松本悠輝 松本内科循環器科クリニック院長
常務理事 三好正昭 大分市体育協会理事長
以上、会長1名、副会長3名、専務理事1名、常務理事10名を御提案いたします。

《質疑応答なし。全会一致で承認された。》

代表理事の選定により、新たに会長に就任した、麻生益直氏があいさつを行った。

ただ今、皆様方に御承認をいただきまして、会長を務めることになりました麻生でございます。どうぞよろしく願いいたします。

挨拶の前に一言自己紹介をさせていただきます。私は平成12年から9年間大分県教育委員会教育委員を務めさせていただきました。その間、大分国体があり、同時期に教育委員長を務める事となり、大変ありがたい貴重な経験をさせていただきました。その経験を生かして、是非、体育協会副会長をしてもらいたいと知事から要請があり、6年前に副会長を務めることになりました。以来、3期6年、なんとか副会長の任務を果たしてきたのではないかと思います。そしてまたここで会長としてご承認いただき、大変身の引き締まる思いですが、大分県のスポーツ振興・発展に寄与する為、頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、役員の皆様方には、平素から本会の諸事業の推進並びに本県のスポーツ振興に格別の御支援・御協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

令和の時代のスタートを担う、新たな役員が決定いたしました。ご存知のとおり、平成15年から8期16年の長きに渡り、本会の会長としてリーダーシップをとっていただきました広瀬知事が今回

ご退任をされました。改めて、これまでのご功績に深い敬意と感謝を申し上げますとともに、広瀬知事の後任としての重責をひしひしと感じている次第です。本会の運営にあたっては、役員の皆様をはじめ加盟団体とともに、しっかりスクラムを組んで諸事業の推進してまいりたいと考えておりますので、どうかよろしく願い申し上げます。

特に、国民体育大会に向けては、目標を「天皇杯得点1000点の獲得」といたしました。目標達成に向けて、「チーム大分」の意識を高め、競技力向上に取り組んでまいりたいと考えております。

また、「スポーツ少年団」活動や、「総合型地域スポーツクラブ」育成の推進など、幅広い世代を対象に、スポーツ振興に向けた事業を展開しております。スポーツへの関わり方が多様化する中、「する」「見る」「支える」という観点で、多くの県民がスポーツに親しむ環境づくりに取り組んでまいりたいと考えています。

先日、県立武道スポーツセンターが開館いたしました。武道をはじめとした屋内スポーツの拠点として、また、県民の誰もが気軽に利用できる施設として、全国に誇れる施設ができたことは、嬉しい限りです。

さらに、今年は、ラグビーワールドカップが本県で開催されますが、このようなビッグイベントの開催を絶好の機会と捉え、スポーツ大分の更なる発展に繋げていくことが大切です。役員の皆様方には今後とも一層の御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、本日は平成30年度事業報告や決算等について御審議いただくこととしています。十分な御審議をいただきますようお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

渡邊総務部長が、本会定款第33条2項「理事会の議長は会長とする」により、麻生会長に議長をお願いすることを説明。

以降は、麻生議長による進行。

《松本常務理事が挙手し、発言。》

松本 悠輝 常務理事

事務局に質問です。定款には名誉会長という職はあるのですか。

伊藤事務局長

定款第31条には、「この法人に、名誉会長及び顧問並びに参加を若干名置くことができる。」

また、2項では、「名誉会長は、理事会の推薦により会長が委嘱する。」となっています。

松本 悠輝 常務理事

定款にそのような条文があるのであれば、是非、広瀬前会長を名誉会長に推薦してはどうでしょうか。

《麻生議長が議場に、質問・意見等を伺う。》

《質疑応答なし。》

《麻生議長が、広瀬前会長を名誉会長に推薦してよいか、議場に諮ったところ、全会一致をもって承認された。》

【議案2 参与の推薦について】

以下、伊藤事務局長の説明内容。

レジュメ5ページを御覧ください。

定款第31条には、「この法人に、名誉会長及び顧問並びに参与を若干名置くことができる。」

また、4項には、「参与は、この法人の理事、監事であった者及び特に理事会が推薦した者につき会長が委嘱する。」とございます。

これまで参与には、本会の経営に対しまして御協力いただいています、大分県ゴルフ協会の関係者を委嘱させていただいています。この度、参与でおられました津田元英大分県ゴルフ協会会長が退任されることから、引き続き大分県ゴルフ協会から杉本健一副会長を提案いたします。

《質疑応答なし。全会一致で承認された。》

【議案3 令和元年・2年度財務委員会委員長及び大分県スポーツ少年団本部長・副本部長について】

以下、伊藤事務局長の説明内容。

それでは、議案3の令和元年・2年度財務委員会委員長及び大分県スポーツ少年団本部長・副本部長について、御説明いたします。

本会には、専門委員会として、財務委員会、スポーツ少年団、競技力向上委員会、スポーツ医科学委員会がございます、それぞれに規程が定められています。全ての専門委員会において、委員の任期は2年となっており、本年が改選期となっておりますが、スポーツ少年団の委員は市町村スポーツ少年団の役員から選出された者、他の委員会の委員は本会会長が委嘱するとなっておりますので、理事会での審議対象ではございません。本日御審議いただくのは、財務委員会の委員長と、スポーツ少年団本部長・副本部長でございます。

財務委員会規程によりますと、第5条には、「委員長は、本会理事会において選出し、本会会長が委嘱する。」とございます。また、スポーツ少年団設置規程第9条及び第10条には、「本部長及び副本部長は、委員総会でこれを推挙し、本会理事会の承認を得て本会会長が委嘱する。」とあります。

レジュメの6ページを御覧ください。令和元年・2年度財務委員会の委員長（案）でございます。委員長として、先程副会長に選定されました野見山裕治日本製鉄株式会社大分製鉄所執行役員所長を御提案いたします。

続きまして、令和元年・2年度スポーツ少年団本部長（案）と副本部長（案）でございます。本部長として、先程常務理事に選定されました牧和志県体育協会常務理事を、副本部長として、加藤正和国東市教育委員会教育長、同じく、佐藤充弘県小学校体育研究会会長、同じく、佐保宏二県教育庁体育保健課体育・スポーツ振興監、同じく、竹内進県スポーツ少年団指導者協議会会長、同じく、三好正昭大分市企画部スポーツ振興課長を御提案いたします。

《質疑応答なし。全会一致で承認された。》

【議案4 退任表彰について】

以下、伊藤事務局長の説明内容。

先ほどは、議案3の御承認ありがとうございました。御承認をいただきましたので、レジュメ4ページ議案1で御承認いただいた牧和志常務理事の所属役職を県スポーツ少年団本部長に改めさせていただきます。

す。

それでは、議案4の退任表彰について、御説明いたします。レジュメ7ページをご覧ください。

本会表彰規程には、退任役員等に対するの表彰規定はございませんが、これまで、本会役員等として本会の発展にご尽力されました方をその功績を讃えまして、退任時に感謝状を贈呈し、表彰しております。対象者としましては、2の(1)から(3)にございますように、本会役員等を2期以上連続して務めた者、本会役員で本会の発展に功績(通算6年間以上)があった者、その他特別な事情により顕彰の必要が生じた場合は理事会に諮り決定するものとしております。

今回の候補者でございますが、お名前を読み上げさせていただきます。なお、在任期間等は記載の通りでございます。

広瀬勝貞前会長、安部省祐前常務理事、蓑田智通前常務理事、阿部昭一前理事、樋口紅史前理事、津田元英前参与

以上6名の方が該当いたしますので、御審議の程よろしくお願い申し上げます。

《質疑応答無し。全会一致で承認された》

【議案5 平成30年度事業報告について】

以下、伊藤事務局長の説明内容。

議案4の御承認ありがとうございました。感謝状につきましては、本理事会終了後、麻生会長からお渡しをさせていただきます。

それでは、議案5の平成30年度事業報告につきまして御説明いたします。レジュメ8ページをご覧ください。報告につきましては、内容が多いため抜粋して報告させていただきます。

まず、8ページの上段、理事会・評議員会でございます。30年度は、定款等に定められています評議員選定委員会、役員等推薦委員会、臨時評議員会、定例の理事会、定時評議員会等を資料記載の日程により開催し、本会の役員の変更や運営に関わる事項を御審議いただきました。

8ページから10ページ上段にかけては、九州ブロック大会及び国民体育大会関係でございます。第38回九州ブロック大会夏季大会、秋季大会は鹿児島県を主会場に開催されました。本県選手団は夏季・秋季大会に32競技91種別に出場し、53の代表権を獲得いたしました。

第73回国民体育大会本大会は福井県で開催され、大会には、監督選手453名が出場いたしました。結果は天皇杯順位第21位でありました。9ページ下段ですが、第73回国民体育大会反省会・工秀秀明スポーツ奨励賞授与式・懇談会を開催いたしまして、チーム大分の一層の結束を図るとともに、第74回国民体育大会での奮起を誓い合いました。

10ページ中段からは、専門委員会であります競技向上委員会関係でございます。強化指定委嘱状交付式、激励訪問、競技力向上委員会の開催に取り組みました。

10ページ下段から14ページ上段は、スポーツ医科学委員会関係でございます。スポーツ医科学を活用した競技力の向上に向けて、各種事業に取り組みました。また、スポーツトレーナー等に関する臨時専門部会を開催し、より専門的に話し合いを行ったところです。

14ページ中段から17ページ上段にかけては、スポーツ少年団関係でございます。資料記載のとおり大変多くの諸会議、研修会、大会等を実施いたしました。登録者数については、本県は4年連続で前年度を上回りました。また、16ページ下段No.114にある第16回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会を本県で開催し、全国から747名の団員を迎え、大分県バレーボール協会・大分県スポーツ少年

団リーダー会などの協力のもと、競技はもちろんのこと、団員同士の交流も深めることができ成功裏に終了することができました。スポーツ少年団関係事業は、様々な魅力ある事業をさらに充実させながら、関係機関と連携して今後のスポーツ少年団活動の活性化に繋がる取組を続けたいと考えております。

17ページ中段にあるその他本会主催会議の中のNo.122平成30年度ガバナンス研修会ですが、加盟競技団体関係者60名出席のもと、本日御出席いただいております本会監事の矢部正秋税理士を講師として招き、「スポーツ団体における経理ガバナンスの構築について」をテーマに講義をしていただきました。競技団体において、社会から信頼される組織運営は、スポーツ振興を図る上での最重要課題でございます。今後も内容を検討しながら継続して開催していきたいと考えています。

17ページ下段に、表彰関係事業でございます。御覧のとおり平成30年度も多くの団体、個人を表彰することができました。

18ページ上段は、募金関係事業でございます。No.128にある賛助会員制度ですが、役員の方々をはじめ、県民の皆様や企業など、各方面から御協力をいただき、法人会員としまして73件、265万円、個人会員としまして、159件、145万5千円、合計、232件、410万5千円の賛助会費をいただきました。大変ありがとうございました。

事業報告は以上でございます。御審議の程よろしくお願いいたします。

《質疑応答なし。全会一致で承認された》

【議案6 平成30年度収支決算について】

それでは、議案6の平成30年度収支決算につきまして、御説明いたします。19ページから35ページが決算資料でございますが、かなりの量になりますので、20ページの次に挟んでおりますA3縦の資料により提案させていただきたいと思っております。

まず、説明の前に、本会の会計は大分県スポーツ振興事業、大分県スポーツ少年団事業、大分県スポーツ普及・表彰事業の3つからなる公益法人会計と、事務局運営に係る法人会計の合計4つに分かれていることを申し上げます。

表の見方ですが、ローマ数字Ⅰの一般正味財産増減の部の1. 経常収益がいわゆる収入の部です。2. 経常費用が支出の部、収支の差額が3の当期経常増減額となっています。また、一番下のローマ数字Ⅲの正味財産期末残高は、本会の財産残高を示しています。

それでは、前年度の決算額に対して増減が大きいものなど、主な項目について説明いたします。

まず、経常収益です。10行目の受取賛助会員費ですが、決算額は410万5千円で前年度より27万円の増額でございました。これは法人会費の増によるものでございます。

14行目、国体参加補助費ですが、決算額は1億1千154万3千940円で前年度より2千616万7千297円の増額でございました。これは、九州ブロック大会や国体開催県の違いより旅費が大幅に増額したものでございます。

18行目、スポーツ少年団全国交流大会費及び40行目全国スポーツ少年大会参加者負担金ですが、決算額は0円でございました。これは、本県開催の九州ブロックスポーツ少年大会と日程が重複していたため、本県からの参加者が無かったことによるものです。

19行目、スポーツ少年団組織整備強化費ですが、決算額は282万4千円でございました。前年度より68万6千円の増額でした。これは、九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会並びに九州ブロックスポ

ーツ少年団指導者研究協議会が本県で開催されたためでございます。

20行目、ブロック競技別交流大会開催費及び21行目、ブロックリーダー研究大会開催費ですが、決算額は0円でございます。

これは、両大会とも本県で開催されなかったためでございます。

24行目、九州ブロックスポーツ少年大会開催費及び38行目、九州ブロックスポーツ少年大会参加費ですが、本県開催のため増額となっております。

44行目、指定正味財産からの振替額ですが、決算額は34万6千560円で前年度より31万2千600円の減額でございます。これは、工藤秀明奨励賞の受賞者が少なかったことによるものです。

51行目、雑収益ですが、決算額は210万9千513円で前年度より30万9千999円の増額でした。これは、全国スポーツ少年団バレーボール交流大会を本県で開催した際の別府市からの補助金などによるものです。

52行目、経常収益の決算額は2億6千956万5千604円となり、前年度より2千862万6千137円の増収でございます。

次に、経常費用でございます。

まず、54行目の大分県スポーツ振興事業です。

決算額2億2千415万5千940円で前年度より2千616万7千297円の増額となりました。これは先ほど説明した経常収益の国体参加補助費と同じ理由によるものですので増額も同額となっております。

66行目、大分県スポーツ少年団事業の大会費の決算額は881万6千671円で前年度より394万945円の増額となりました。これは九州ブロックスポーツ少年大会開催費と全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に係る本会からの負担金によるものでございます。

70行目、大会派遣費の決算額ですが、63万3千730円で前年度より36万3千972円の減額となりました。これは、九州ブロックスポーツ少年大会のとの日程の重複により全国スポーツ少年大会への参加者がいなかったこと、また、全国スポーツ少年団バレーボール交流大会が本県で開催されたことによる派遣費の支出がなかったことによるものです。

78行目、※印の上記3事業の事業管理費ですが、3事業それぞれに割り振っているものをまとめて示しているものでございます。決算額は2千163万5千619円で前年度より44万3千78円の増額となりました。これは、職員手当・法定福利費の増によるものでございます。

80行目、管理費の決算額ですが、640万5千328円で前年度より18万7千810円の増額となりました。これは、スポーツ交流館のセキュリティーシステムの修繕費によるものです。

81行目、経常費用の決算額は2億6千894万1千491円となり、前年度より3千76万6千572円の増額となりました。

次に、当期経常増減額でございますが、各事業毎の経常増減額を示しています。スポーツ振興事業の当期経常増減額は18万8千171円の赤字、スポーツ少年団事業の当期経常増減額は9万1千771円の黒字、スポーツ普及・表彰事業の当期経常増減額は13万3千290円の黒字、法人会計の当期経常増減額は58万7千223円の黒字、したがって、87行目、全会計を合わせた当期経常増減額は、62万4千113円の黒字でございます。

95行目、ローマ数字Ⅲの正味財産期末残高は3千702万3千414円でございます。

以上が、平成30年度決算につきましての説明でございます。

(続いて、矢部正秋幹事から監査報告がなされた。以下、報告内容。)

それでは、監査報告をいたします。平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の監査報告をさせていただきますが、監査報告書につきましては、お手元の資料35ページに掲載しておりますが、監査の方法及びその内容につきましては、記載の通りでございますので、お読み取りいただければと思います。

監査意見ですが、事業報告等につきましては、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。続きまして、計算書類及びその附属明細書等でございますが、これらにつきましては、法人の財産及びその損益の状況につきまして、全ての重要な点について適正に表示しているものと認めます。

令和元年5月13日 公益財団法人大分県体育協会 監事 矢部 正秋
以上でございます。

《質疑応答なし。全会一致で承認された》

【議案7 大分県体育協会の名称変更について】

以下、伊藤事務局長の説明内容。

それでは、大分県体育協会の名称変更について説明いたします。レジュメ36ページを御覧ください。

始めに、2のこれまでの経緯ですが、平成29年度第3回理事会で、日本体育協会の名称変更について説明、昨年6月25日に本会加盟団体を対象に名称変更に関するアンケート調査を実施、平成30年度第2回理事会において、その調査結果を御報告いたしました。

調査結果は、「変更した方がよい」と「その他」と回答した団体を合わせますと、92.3パーセントでした。

続きまして、37ページ5関係団体の状況であります。 (1) 本会の上部組織である「日本スポーツ協会」は平成30年4月1日より名称を変更しました。

続きまして (2) 各都道府県体育協会の状況であります。平成31年4月1日現在で20の道府県体育協会が「スポーツ協会」へ名称変更済みとなっております。

また、昨年6月の第196回通常国会において、スポーツ基本法並びに国民の祝日に関する法律が改正され、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年から「体育の日」を「スポーツの日」に、また、2023年佐賀県で開催される「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に変更することが可決されました。

このような状況を踏まえ、本会の名称変更について御提案申し上げます。再度36ページを御覧ください。

新名称を「公益財団法人大分県スポーツ協会」、英語表記を「Oita Sport Association」に変更したいと考えております。

変更理由といたしまして、本会はこれまで「大分県体育協会」と自身の名称に「体育」を用いてきました。「体育」は身体の教育という大きな営みを指し、スポーツを含む広義の意味で捉えられていたことが、1964年の東京オリンピック以降、「スポーツ」が、広く人々や社会に浸透し、発展してきたこと

によって、現在では「スポーツ」は体育や身体活動の概念を含むものと認識されるようになりました。

また、本会はこれまで、「体育」の意義や教育的価値の重要性を尊重しつつ、「スポーツ」を振興し、その価値を高める役割も担ってきました。大分県議会においても社会全体でスポーツを推進し、「県民の誰もがそれぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しみや感動を味わいながら、健康で活力ある豊かな生活を営むことができる大分県」の実現を目指して、大分県スポーツ推進条例が制定されました。そのような中、本会が大分県のスポーツ振興を総合的に促進する団体として、多くの人々のスポーツ参画を促し、スポーツという文化を後世に継続していく上で、「体育」の概念を包摂している広義の「スポーツ」という言葉をもって、「大分県スポーツ協会」という名称に変更することが、よりふさわしいと考えました。

なお、4に、名称変更に向けたスケジュールを掲載しております。令和元年度第1回理事会、定時評議員会で提案し、承認をいただければ定款並びに諸規定の改訂を開始いたします。その後、令和2年3月開催予定の第4回理事会・臨時評議員会で定款の改定（案）等を提案し、同年4月1日から名称を変更したいと考えております。

以上が、大分県体育協会の名称変更についての説明でございます。御審議よろしくお願いたします。

渡邊 光廣 理事

小さい話ですけれども、バドミントン協会の横断幕に大分県体育協会と入れているのですが、こういったものも全部変えないといけないという事でしょうか。

伊藤事務局長

お認めいただけましたら、来年4月1日以降より名称変更となりますので、加盟団体においても表記を変更するようにしていただきたい。

本日ご審議いただきまして、今後は名称変更について加盟団体に周知し、ご理解を頂けるように進めていきたいと考えております。

麻生 益直 議長

費用の掛かることでもありますし、できればスムーズにということが一番良いわけですけれども、予算の関係で大変厳しいところもあると思いますので、執行保留期間を設けるとか、何か手立てを検討してまたご連絡したいと思います。ご協力の程よろしくお願いたします。

《その他質疑応答なし。全会一致で承認された。》

5 報告事項

- (1) 本県の競技力の現状について
- (2) 令和元年度事業報告について
- (3) 各種大会成績について

以下、伊藤事務局長の説明内容

それでは最初に報告事項（1）の本県の競技力の現状についてご説明いたします。38ページをお開きください。

本会は、大分県競技力向上対策本部と連携し、昨年の福井国体終了後の11月14日から競技団体関係者とのヒアリングを実施し、茨城国体に向けた目標や取り組みについての協議を行いました。最強のチーム大分を編成するためのふるさと選手の確保や、全国の強豪チームとの強化試合など、茨城国体に向けての強化策を明確にし、競技団体と一丸となって取り組むことを確認いたしました。

レジュメ38ページの資料は、平成31年3月までに開催されました全国高等学校選抜大会等の成績一覧でございます。茨城国体までに高校生は、全国規模の大会は2回ございます。この全国高等学校選抜大会と夏に行われますインターハイでございます。我々はこの2回の全国規模の大会での結果を検証し、PDC Aを行います。資料の下段には前年度との比較を掲載しています。

まず団体競技ですが、平成29年度は14団体が入賞いたしました。平成30年度は3減の11団体でございます。これを国体得点方式で換算いたしますと、平成29年度は152点、平成30年度は114点でございます。得点を減らしていますが、29年度はハンドボール競技において大分高校女子が優勝、また大分雄城台高校男子が3位でしたが、30年度、ハンドボール競技は少年男女ともに入賞がありませんでした。一方、剣道競技の明豊高校男子が快進撃により準優勝いたしました。国体得点方式の5倍競技の入賞数1減が、減点となっています。しかしながら、ハンドボール競技の大分高校女子は、選抜大会準優勝しました白梅学園高校に1点差で3回戦敗退しましたが、選抜大会期間中の白梅学園高校と他チームの得点差から見ても、大分高校女子は、国体での上位入賞に近い実力と考えております。

次に個人競技でございますが、平成29年度入賞数は18、平成30年度19でございます。これを国体得点方式で換算いたしますと、平成29年度は72.5点、平成30年度は92点でございます。この内、優勝者は、平成29年度はいませんが、平成30年度は5名と大きな増加となりました。これら優勝者の5増は大きな戦力と考えております。

最後に団体・個人の総合計で比較してみますと、平成29年度は32の入賞、国体得点方式では224.5点。平成30年度は30の入賞、国体得点方式では206点でございます。平成30年度と平成29年度と比較いたしますと、入賞が2減、得点が18.5点減という結果でございます。先ほども説明いたしました、個人競技は昨年同様かそれ以上の結果を収めております。しかしながら5倍競技種目の団体入賞1減が、今年度の得点減の要因と考えております。

今後は、5月20日から競技団体ヒアリングを開始し、これまでの強化の進捗状況を確認の上、PDC Aに取り組んでまいります。またインターハイ後も同様の結果検証を行いたいと思います。決して楽観視できない状況ではございますが、今年度の強化戦略を競技団体と共有し、茨城国体を迎えたいと考えております。以上でございます。

次に報告事項(2)の令和元年度事業報告について御説明いたします。39ページをお開きください。本年度に入りましてからの本会関係の会議や行事などがございます。主要な箇所のみ抜粋して御説明させていただきます。

No.1、4月1日から実施されています、優秀指定選手メディカルチェック(血液・栄養調査)ですが、昨年度までは、大分県地域成人病検診センターを拠点施設として実施をしてきたところですが、今年度からはこれまでの内容を大きく変更し、血液・栄養調査については、16の県内医療機関を本会が指定し、対象選手が居住地医療機関で採血できますよう変更したものであります。

No.3、4月10日に、本会加盟競技団体事務局長会議を開催いたしました。本年度の運営方針、国民体育大会に係る強化費等補助金の事務手続きなどを説明させていただきました。

No.7です。4月18日に臨時評議員会を開催し、令和元年・2年度理事・監事候補者を選出いただきま

した。

40ページの10、4月23日に強化指定委嘱状交付式を開催し、強化指定180団体、個人24名、大分県競技力向上スーパーコーチ5名に対して、広瀬会長が委嘱状を交付いたしました。別府翔青高校水泳部監督の茶木先生の力強い決意表明、大分県高体連井上会長の頑張ろう三唱により、茨城国体での「天皇杯得点1000点」に向けて気持ちを一つにすることが出来ました。

また、同日の午後は、強化指定校・団体の指導者を対象とした拠点指導者研修会を開催しました。大阪体育大学の土屋裕睦先生に「超える～実力発揮の心理学」と題して講演をしていただき、指導者の資質向上を図ることができたと考えているところです。

11ですが、強化指定委嘱状交付式翌日から強化指定校の激励訪問を実施し、監督、選手を激励しているところでございます。

13です。4月25日に評議員選定委員会を開催し、新評議員65名を選定いたしました。

14です。4月26日付の書面決議によって、臨時理事会を開催し、学識経験者区分理事候補の選定及び、評議員選定委員会委員の変更について審議いたしました。

15、4月30日付けの書面決議によって、役員等推薦委員会を開催し、評議員会の付議議案である役員の選任について、決議いたしました。

16、5月8日に大分県スポーツ少年団委員総会を開催し、平成30年度事業報告及び決算などについて審議いたしました。

2019年度事業報告は以上でございます。

続きまして、報告事項(3)の各種大会成績について説明いたします。41ページをお開きください。3月12日から5月13日までの成績です。中学生は全国大会ベスト8以上、社会人・高校生は九州大会ベスト4以上・全国大会ベスト8以上を掲載しています。本日は、国際大会・全国大会で優勝した選手・チームについて紹介いたします。

42ページ、水泳競技、第95回日本選手権水泳競技大会、男子200m平泳ぎにおきまして、本県出身の渡辺一平選手が優勝いたしました。

43ページ、レスリング競技、2019年度JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会、男子ジュニア・グレコローマンスタイル72kg級におきまして、日本文理大学の菅原魁一選手が優勝いたしました。

ウエイトリフティング競技、第34回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会、男子73kg級におきまして、大分工業高校の首藤佑希選手、女子63kg級におきまして、大分工業高校の立川千夏選手が優勝いたしました。

自転車競技、平成30年度全国高等学校選抜自転車競技大会、男子ポイントレースにおきまして、日出総合高校の生野優翔選手が優勝いたしました。

44ページ、卓球競技、第22回全国教職員ベテラン卓球大会、男子ラージボールシングルス60歳の部におきまして、ベイサイド別府の松藤辰彦選手、同じく70歳の部におきまして、県南ラージの小野貞夫選手が優勝いたしました。

相撲競技、第7回国際女子相撲選抜堺大会、女子超軽量級におきまして、日本文理大学の佐藤里津選手が、第1回全日本個人体重別選手権大会、女子ジュニア60kg未満級におきまして、楊志館高校の山口結奈選手が優勝いたしました。

45ページ、ライフル射撃競技、第38回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会、男子ビームピスト

ルにおきまして、由布高校の下津源也選手が、第19回全日本ジュニアビームライフル射撃大会、男子団体ビームライフル立射60発におきまして、由布高校が優勝いたしました。

カーヌー競技、2019カーヌースプリントジュニア海外派遣選手選考会兼第29回府中湖カーヌーレガッタ、男子500mカナディアンシングルにおきまして、大分県カーヌー協会の米光陸選手が、男子500mカナディアンペアにおきまして、大分県カーヌー協会の熊井・米光ペアが優勝いたしました。

46ページ、ボウリング競技、第22回全国高等学校ボウリング選手権大会、男子団体・女子団体ともに大分高校が優勝いたしました。

その他の成績につきましては、後刻御確認いただきたいと思います。各種大会の成績につきましては以上でございます。

その他紹介できませんでした成績につきましては、資料記載のとおりでございます。

以上で説明を終わります。

《質疑応答なし。》

6 その他

- (1) 第39回九州ブロック大会・第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の日程・会場地について
- (2) 第39回九州ブロック大会・第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」に係る調査について
- (3) 第72回大分県民体育大会の日程・会場について
- (4) 第67回大分県高等学校総合体育大会の日程・会場について
- (5) 第57回大分県中学校総合体育大会の日程・会場について
- (6) 令和元年度賛助会員募集について

以下、伊藤事務局長の説明。

まず、(1)の第39回九州ブロック大会・第74回国民体育大会の日程会場についてですが、別冊A4縦版の資料1ページから3ページが佐賀県で開催されます第39回九州ブロック大会の日程及び会場一覧です。4ページ、5ページは第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の大会日程と会場一覧です。詳細につきましては後刻御確認ください。

次に(2)の第39回九州ブロック大会・第74回国民体育大会に係る調査についてでございます。別に配付させていただきました調査票をご覧ください。第39回九州ブロック大会・第74回国民体育大会の会期を記載しておりますので、先程ご覧いただきました競技日程等を参考にされ、対応が可能な日に○印をつけていただきまして、恐れ入りますが事務局まで御提出くださいますようお願いいたします。

(3)第72回大分県民体育大会の日程・会場地についてですが、6ページをご覧ください。本年度は豊肥ブロックを中心に6月22日・23日を主日程として開催されることとなっておりますので、御確認ください。

次に、(4)第67回大分県高等学校総合体育大会の日程・会場地についてですが、7ページをご覧ください。本年度の高校県体は6月1日、2日を主日程としてご覧の競技会場にて開催される予定となっておりますので、御確認ください。

次に、（５）第５７回大分県中学校総合体育大会の日程・会場地についてですが、８ページをご覧ください。５月２４日に開催されます第２回評議員会で正式に決定される予定です。

最後に（６）令和元年度賛助会員についてのご願ひでございます。賛助会員制度につきましては、平成２２年度から取り組みをはじめ、これまで本会の運営に有効に活用させていただいているところです。これまでの御協力にこの場を借りまして、厚くお礼申し上げます。

本会の財務状況は、大変厳しい状況が続いております。昨年度の賛助会費総額は前年度を若干上回りました。本年度も皆様方の御理解を得まして、賛助会員の拡充を図って参りたいと考えております。

本日は小封筒入りの趣意書等を関係の皆様へ配付させていただいております。何卒、趣旨を御理解の上、本年度も御協力くださいますよう切にお願い申し上げますとともに、周囲の方々にも賛助会員の輪を拡げてくださいますよう併せてお願い申し上げます。

以上でその他の説明を終わります。

《質疑応答なし。》

麻生 益直 議長

県中学総体及び県高校総体のことについて、それぞれ、工藤啓記常務理事と井上倫明常務理事から説明をお願いします。

工藤 啓記 常務理事

中体連会長の工藤と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。毎年暑い時期に開催されます７月後半ということで、熱中症対策には十分配慮しているつもりでございます。今年から県の施設のご配慮によりまして、学校施設には空調施設がありませんので、全ては空調施設が整っているところで競技を開催させていただくことになりました。新しくできました大分県立武道スポーツセンター等を活用させていただきます。また、例年ですと開会式後に多くの競技が実施されますが、今回はバレーボール競技の前倒しであったり、また、サッカーや軟式野球については、開催期間の延長ということで対策をとり、延べ５日間の開催ということになりました。またそれぞれの競技団体の方々にはご支援を賜ることが多々ありますけれどもどうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

井上 倫明 常務理事

続いて、大分県高等学校体育連盟からのお知らせでございます。資料７ページに第６７回県高校総体の競技日程等が記載されております。５月３１日（金）に総合開会式を行うこととしております。晴天時は、大分市宮陸上競技場でございます。主日程を６月１・２・３日で組んでいます。すでに先行開催している競技もあります。御覧のような日程で行います。県総体を終えたあとは、九州大会がありインターハイへとつながっていきます。県高体連といたしましては、インターハイはもちろん目指しているところではございますが、それ以上にインターハイでは終わらずに、茨城国体まで少年の部として繋げていけたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

麻生 益直 議長

他の理事の皆さんから、何か連絡事項があればお願いします。

今富 寛二 理事

中津市体育協会です。中津市では、ダイハツ九州アリーナに今回クライミングウォールの壁面が完成いたしました。新聞等で取り上げられてはいますが、気軽にお越しただいて、気軽に利用できる施設ではございませんが、中津市山岳協会が行う講習会を受講した方、もしくは大分県立総合体育館の認定書を受領している方が利用できます。設計していただいた方に聞きますと、ナショナルトレーニングセンターの壁面にも体幹を鍛えるためにクライミングウォールが用意されているとのことでした。あらゆる競技団体の方に活用していただければと思っておりますので、この場を借りてPRさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

8 閉会のことば 渡邊総務部長が閉会のことばを述べた。

令和元年5月14日

会 長 麻 生 益 直

副会長 工 藤 利 明

監 事 倉 掛 賢 裕

監 事 武 石 哲 也

監 事 矢 部 正 秋